

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



2025年を見据えて 看護部始動!

写真撮影 江角 誠

【特集】

看護師特定行為研修、
開講しました!!

- VOICE
- 第1回 開放型病院協議会開催
第1回 開放型病院連絡会のご案内
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 研修日程表

患者さまをお待たせしないために、
外来紹介予約センターをご利用ください。



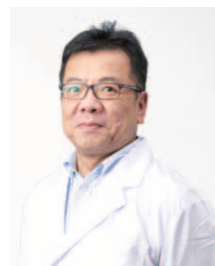
096-353-6565

096-353-6566

FAX
096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

看護師特定行為研修、 開講しました！！

看護師特定行為研修は、未来の医療を支える研修制度として平成 27 年度から開始されたもので、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向け 10 万人以上の研修修了生の輩出を目指すものです。研修は、38 の特定行為を 21 区分に分け、養成機関の特徴にあわせてプログラムされるもので、熊本医療センターでは、“最新の知識・医療技術と礼節をもって、良質で安全な医療を目指す”という病院の基本理念の下、救急医療に焦点をあて、①気道確保に係る呼吸器関連、②人工呼吸療法に係る呼吸器関連、③動脈血液ガス分析関連の 3 区分 7 行為を必修としました。



1. 開講式

令和元年 6 月 10 日に、熊本医療センター研修ホールにて『令和元年度看護師特定行為研修開講式』を開催しました。熊本県下初の指定研修機関としてオープニングセレモニーを行い、受講許可を吉本健志さん（熊本医療センター）が代表授受、研修生宣誓を前川友成さん（熊本医療センター）が述べました。

前川さんは、「看護の基盤となる患者様の病態の変化や疾患を包括的にアセスメントする能力と治療を理解し安全に医療を提供する能力を修得し、令和という新たな時代の医療現場の中で、チーム医療の中心的な役割を果たし、国民のニーズに応えられるよう向上心を持って研修に臨みます」と力強く宣誓しました。



2. カリキュラム

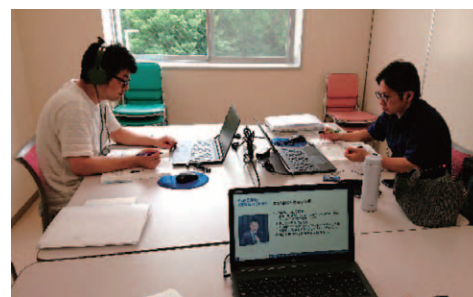
今年度のカリキュラムは、特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための共通科目（必修:321時間）と各特定行為に必要とされる能力を身につけるための区分別科目（必修:115時間）で構成しています。研修はeラーニングを用いますが、集合研修にて実施しているため昼間開講としています。

科目名	研修方法	時間	区分名	特定行為名	研修時間数
臨床病態生理学	講義、演習	47時間	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	22時間
臨床推論	講義、演習、実習	45時間			
フィジカルアセスメント	講義、演習、実習	45時間	呼吸器（人工呼吸療法にかかわるもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	63時間
臨床薬理学	講義、演習	46時間		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
疾病・臨床病態概論Ⅰ	講義、演習	45時間		人工呼吸器管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
疾病・臨床病態概論Ⅱ	講義、演習	16時間		人工呼吸器からの離脱	
医療安全学	講義、演習、実習	30時間	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	30時間
特定行為実践	講義、演習、実習	47時間		橈骨動脈ラインの確保	
合計		321時間			

3. 受講の様子

研修は、当院併設の附属看護学校で受けています。現在は、共通科目の講義が中心ですが、研修が進んでくるとグループ討議やロールプレイ、学内実習も始まります。Web講義は、終了時に確認テストがあるので、研修生は真剣に集中して取り組んでいます。

次年度は、現在建設中の新棟にスキルアップラボ室が設置されますので、より整った環境下で研修を受けることができます。



4. 研修生にインタビューを行いました！

インタビュー内容は以下の5つです！

- ① 特定行為研修を受けようと思ったきっかけは？
- ② 日常の看護で特に大事にしていることは？
- ③ 趣味は？休みの日は何をしていますか？
- ④ 尊敬する人は？
- ⑤ 最後に、特定行為研修を受けたいけど迷っている方へ一言！

まえかわ ともなり 〔前川 友成さん〕

- ① 多職種と協働してチーム医療を実践するなかで自分の未熟さを感じることがあり、高度な臨床実践能力を習得することで、その葛藤を払拭できると考え本研修を受講しました。また、特定行為を実践することが、患者さまが回復する過程の手助けになると考えています。
- ② 患者さまとそのご家族をチーム医療の一員として考え、急性期の段階から退院後のQOLを見据えた看護を共に実践していくことを大切にしています。
- ③ 現在は、休みの日も研修の予習と復習に費やしています。時間があればジムに行く



て汗を流しています。睡眠時間は短くなりましたが、研修前に比べてとても健康的な生活を送っています。

- ④ 正直で誠実な人!
- ⑤ 成人してから集中的に学習する機会は少ないため、大変貴重な体験だと思います。解剖生理学から特定行為に関することまで一から学習していくので、これまでの自分自身の看護を見つめ直し、これからの看護実践能力の幅を広げるなどスキルアップを図るうえでは、絶好の機会だと思います。

よしもと たけし 〔吉本 健志さん〕

- ① 看護師 10 年目を近くにして自己の知識向上とスキルアップを目指したいと思っていました。そんな時に病棟師長から今回の研修の話があり研修参加を希望しました。
- ② 予測しながら仕事をすることです。日常の看護業務や対象者（患者さま）に対して、どのように対応したらよいのかを常に予測しながら行動することを心掛けています。
- ③ 研修参加の半年前に子供が生まれたため、子供と遊ぶことです。子育て。
- ④ 人に影響を与えられる人です。憧れる人になりたい。看護の面ではそれが先輩看護師や認定看護師の方でした。そのため自分も人に影響を与えたいと思い今回の研修参加を希望しました。
- ⑤ 私自身が病棟看護師であり、病棟看護師では無理なのでは?とっていました。今は、この研修で自分の知識のなさを実感している部分もありますが、改めて勉強できることの新鮮さや楽しさを感じています。また、今後は対象者（患者さま）に対して根拠を持って看護できる自信になるのではと感じています。この研修は、子育てなどで時間がなくてもネット環境があれば学習できるという利点や集合教育でわからない部分を共有できるという環境が良いと感じています。もし似たよう背景や環境の方で迷っている方を見かけたら参加を勧めたいと思います。



5. 次年度募集

次年度の特定行為研修は、内容をより充実させて募集を開始する予定です。熊本で働く多くの看護師の皆さんが自己研鑽できる機会を考え検討しています。研修に興味があるけど迷っている、もっと研修の内容を聞きたい、という方は、気軽にお問合せください。お待ちしております!!

<お問い合わせ先>

〒 860-0008 熊本県熊本市中央区二の丸 1 番 5 号

独立行政法人国立病院機構熊本医療センター 看護師特定行為研修室

電話(代表) 096-353-6501 E-mail: uchiyama.kumi.kw@mail.hosp.go.jp

*お電話は平日(月~金)の 8 時 30 分~ 17 時 45 分までにご連絡下さい。

看護師特定行為研修担当者 内山 久美



詳しく知りたい方はこちら▶





医法) 社団 室原会
菊南病院
理事長・院長 室原 良治



◆ 貴院のアピールをお願いします

熊本市北区にありますベッド数 178 床の病院です。質の高い医療、ケアを提供するためには人が最も重要ですので、事業計画の一丁目一番地は『人材教育』です。その中でも、時間管理が出来る能力に力を入れていきます。一言で言うと、「定時にみんなで手をつないで帰ろう」です。自分だけではなく、同僚、上司、部下が定時に帰るためには業務をどう組むか、自分はどう行動し、人にどう行動させるかという視点で計画をたてています。定時に帰り、家族と過ごしたり趣味の時間を持つことが将来の幸福につながるという真実に基づいている計画です。

◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

いつも緊急患者様を直ぐに引き受けて頂き、心から感謝しています。時間が許す限り共同指導に伺うようにしていますが、連携室の皆さまの明るく快い対応で連携はスムーズにいつてます。当院の医師対象に「電子カルテの記載方法」について講義して頂ければ幸いです。

◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

車のレース観戦では F1 にいきます。ドラムをしますので時々バンド活動します。以前はビートルズのコピーでしたが最近は J ポップや昔のフォークソングが多いです。お勧めスポットは鶴屋のクラシックサロンというオーディオルームです。

【診療科目】

内科、リハビリテーション科、循環器内科、
消化器内科、整形リハビリテーション科、
呼吸器内科、神経内科、放射線科、乳腺外科

【診療時間】

月～金 9:00～12:00 (受付 8:30～11:30)
13:00～17:00 (受付 12:30～16:30)
土 9:00～12:00 (受付 8:30～11:30)

【休診日】

日曜・祝祭日・年末年始等
但し、急患の場合はお電話でご相談ください。

【住所】

〒861-5517 熊本市北区鶴羽田 3 丁目 1 番 53 号

【TEL】

096 - 344 - 1711

令和元年度 第1回 開放型病院協議会が開催されました



令和元年7月31日(水)、当院会議室において、令和元年度第1回開放型病院協議会が開催されました。

当協議会には、外部委員として熊本市医師会から園田 寛会長(委員長)、田中 英一副会長、緒方 一朗理事にご出席いただき、開放型病院の運営の円滑化についてご意見を賜りました。

議事は、事務局から開放型病院の利用状況報告として、登録医状況、開放型病院共同指導実績、第46回開放型病院連絡会報告、当院広報誌「くまびょうニュース」発行状況の順に進めさせていただきました。

また、令和元年度第1回開放型病院連絡会について審議頂き、令和元年9月2日(月)午後7時からホテル日航熊本5階阿蘇の間に於いて開催することをご承認いただき、開催が決定いたしました。開放型病院連絡会は総会と意見交換会に分かれ同会場にて開催いたします。

開放型病院連絡会では、地域の医療機関の皆様と意見交換を行い、益々の医療連携強化に繋がりたいと考えております。多数の医療機関の皆様のご臨席を賜りますようご案内申し上げますのでよろしくお願いいたします。

(管理課長 出良 和之)

令和元年度 第1回 開放型病院連絡会のご案内

日時：令和元年9月2日(月) 午後7時～9時

場所：ホテル日航熊本(5階 阿蘇の間)

— 内容 —

(1) 開放型病院連絡会総会(5階 阿蘇の間)

1) 症例の呈示

「腎臓がんに対する凍結治療の導入」

泌尿器科医師

鮫島 智洋

他一例

2) 地域医療連携室からのお知らせ

地域医療連携室長

菊川 浩明

3) 紹介予約センターからのお知らせ

地域医療連携副室長

富高 悦司

(2) 意見交換会(5階 阿蘇の間)

【連絡先】 国立病院機構熊本医療センター管理課

電話 096-353-6501 内線 5690 (出良・有馬)

6/20(木) | 第5回
**熊本県防災消防ヘリコプター
 運用連絡会議 開催** 救

【筆者】救命救急センター長：原田 正公



熊本県防災消防ヘリコプター運用連絡会議が開催されました。この会議は、熊本県ヘリ救急搬送体制に係る防災消防ヘリコプターと当院との連携のために2015年度より開催されております。熊本県からは山本倫彦総務部長、福田充理事、橋本誠也消防保安課長、阿南秀二課長補佐、小山幸治防災消防航空隊長や、担当の方々が参加されました。当院からは高橋院長、橋本・日高副院長、富田臨床研究部長、宮成統括診療部長、植松事務部長、泉看護部長他数名が参加いたしました。航空隊および熊本医療センターからそれぞれの活動報告が行なわれたのちに、今年度防災ヘリの運休終了後よりフライトナースの搭乗が開始されることを確認いたしました。

【場所】3F 会議室



7/6(土) | JATEC 熊本コース 2019 救
 7/7(日) | 開催

【筆者】救命救急・集中治療部医長：山田 周



外傷初期診療を学ぶ JATEC の熊本コースを開催しました。全国から、受講生、講師あわせて約 100 名の参加でした。来年は熊本大学主催で行われ、当院での次回開催は 4 年後となる予定です。

○主導：ディレクター：井清司（熊本県赤十字血液センター）、前原潤一（済生会熊本病院救命救急センター） / コーディネーター：山田周

【場所】熊本医療センター附属看護学校



7/6(土) | 第43回九州地区国立病院 薬
 7/7(日) | 薬剤師会薬学研究会・総会 開催

【筆者】薬剤師：黒原 健



第 43 回九州地区国立病院薬剤師会薬学研究会・総会が開催され、九州・沖縄から会員薬剤師 268 名の参加がありました。今年は研究会初の試みとして、AST・周術期管理をテーマにシンポジウム形式にて実施し、活発な議論が行われました。また特別講演では、医療安全システムデザイナーの古川裕之先生をお招きして、医薬品に関わる安全管理について講演を賜りました。

【場所】研修センターホール



病院増改修
整備工事
NEWS!!!

Step 3 躯体工事中（4 階部分）

外来増築棟は、現在 4 階部分の躯体工事を施工中です。少しずつですが建物らしさが見えてきました。本格的な梅雨時期を迎え、予想を超える大雨も降るなど天気には振り回される中、現場では安全第一を心がけながら、予定どおりの竣工を目指して日々工事を行っています。

皆さま方へはいろいろとご不便をおかけしているところですが、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今後のスケジュール予定

※スケジュールは、今後の工事進捗状況によって変更する場合があります。

増築棟新築工事：Step 3 ～2020年 1月
 外来棟改修工事：Step 4 2020年 3月～2020年 12月

企画課 業務班長
 安藤 隆幸
 Takayuki Ando



研修医レポート

臨床研修医

佐藤 加奈子

さとう かなこ



こんにちは。研修医1年目の佐藤加奈子と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修開始から3か月がたちますが、まだまだ日々の業務について分からないことが多く、そのたびにスタッフの皆様にご助けをいただいております。いつも温かく対応してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、4月に循環器内科から研修をスタートいたしました。はじめは、電子カルテの使い方、病棟業務、オーダーのシステムなどを理解し、覚えることで精一杯でしたが、指導医の先生方やスタッフの皆様方が優しく

指導してくださり、何とか業務に慣れることができました。循環器内科では、急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療の現場を数多く経験させていただきました。救急外来で患者さんの状態を把握しカテーテル治療を行うまでの限りある時間の中で、自分がすべきこと・できることは何か、毎回考えながら必死に先生方についていきました。その後、入院しリハビリを経て、患者さんが歩いて元気に退院する瞬間は、医師としてのやりがいを感じました。

現在は次の消化器内科をローテートしていて、腹部超音波検査と向き合う毎日です。指導医の先生方に見るべきポイントを教わり、何とか上手く描出しようと頑張っているところです。また、内視鏡検査・イレウス管挿入・ERCPなど多くの手技に参加させていただき、毎回初めての経験で大変勉強になっています。

研修が始まってから、自分が多くの方々に支えられているということを常に実感しています。私も、微力ながらスタッフの皆様のお役にたてるよう精進していきたいと思いますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いたします。

臨床研修医

井手 淳之介

いで じゅんのすけ



初期研修医1年目の井手淳之介と申します。熊本大学を卒業し4月より熊本医療センターで初期研修をさせていただいております。原稿を書いている時点で研修が始まってから約3ヶ月が経ちました。まだまだ分からないことばかりですが、少しずつ病院にも慣れ、周りの方々にサポートしていただきながら充実した研修生活を送っております。

最初のタームでは腎臓内科を回らせていただきました。何も分からず始まりましたが、カルテの使い方から患者さまに対する考え方で熱心に教えていただき、最初の2ヶ月で研修医としての生活に幾分か慣れることができました。また驚いたのは手技の多さです。カテーテル治療だけでなくシャント作製、再建の手術がほとんど毎日、多い時には1日に何例も入っており、今までの腎臓内科のイメージが一変しました。内科的

な知識も教えていただきながら手技も存分に練習することができました。

現在は2ターム目で外科をローテートさせていただいております。外科は毎日手術が割り当てられており、また緊急手術も多く忙しいですが充実した日々を送っております。患者さまを手術から術後の回復を経て退院まで見届けることができることは大きな魅力を感じます。周術期の管理を今まであまり勉強してこなかったため、指導医の先生がどのように術後の患者さまを見ているのか最初はなかなか分かりませんでした。しかし、せっかく手術に立ち会ったので術後の管理にも関わりたいと思い、今になってですが勉強しています。先生方も熱心に指導してくださり少しずつ理解できています。また、基本的な手技も多く経験させていただき、大変勉強になっています。

まだできないことばかりで、診療科の先生方をはじめ多くのスタッフの方に迷惑をかけていますが、それでも様々なことを経験させていただくことに感謝しています。研修医としての働きがしっかりできるように頑張りたいと思います。今後ともご指導よろしくお願いたします。



研修のご案内

第246回 月曜会（無料） （内科症例検討会） 〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶令和元年8月19日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1. 内科症例検討 診療で遭遇した興味ある症例の検討を行います。

「腫瘍内科の一例」

国立病院機構熊本医療センター腫瘍内科

「腎臓内科の一例」

国立病院機構熊本医療センター腎臓内科

「熊本の脳神経内科の基礎研究と臨床の最前線」

国立病院機構熊本医療センター脳神経内科

津田 幸元

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線、心電図、その他がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター総合診療科部長 辻 隆宏 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

第169回 救急症例検討会（無料）

日時▶令和元年8月28日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

テーマ:「脳神経疾患」

国立病院機構熊本医療センター脳神経内科

国立病院機構熊本医療センター脳神経外科

水上 秀紀

症例呈示とミニレクチャーを用意しています。

全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

事前参加のお申し込みは必要ありませんので、ご自由にお越しください。

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501(代表) 内線2630 096-353-3515(直通)



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2019
8月

研修日程表

国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター
(096) 353-3515 (直通)

研修日程表への
問い合わせはこちら
研修センター QR コード ▶



8月	研修センターホール	研 修 室
1日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
2日(金)		
3日(土)	8:50~17:25 第8回 すべてのナースのためのエンド・オブ・ライフ・ケア -ELNEC-J in KMC- 1日目	
4日(日)	8:30~16:45 第8回 すべてのナースのためのエンド・オブ・ライフ・ケア -ELNEC-J in KMC- 2日目	
5日(月)		
6日(火)		
7日(水)		
8日(木)		
9日(金)		
10日(土)		
11日(日)		
12日(月)		
13日(火)		
14日(水)	14:00~15:30 第77回 市民公開講座 「口腔内疾患と薬剤の関係」 国立病院機構熊本医療センター 歯科・歯科口腔外科 森 久美子	
15日(木)		
16日(金)		
17日(土)		
18日(日)	9:00~13:30 第25回 熊本PEECコース	
19日(月)		19:00~20:30 第246回 月曜会(内科症例検討会)(研2) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]
20日(火)		
21日(水)		
22日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 20:00~21:30 第82回 医歯連携セミナー 「骨粗鬆症の治療における問題点」 座長 熊本市歯科医師会学術委員会 理事 大塚昭彦 講師 国立病院機構熊本医療センター 整形外科部長 福元哲也	
23日(金)		
24日(土)	9:00~17:00 第100回 救急蘇生法講座 -二の丸ICLSコース- 講師 国立病院機構熊本医療センター救命救急部長 原田正公ほか	
25日(日)		
26日(月)		
27日(火)		
28日(水)	18:30~20:00 第169回 救急症例検討会 「脳神経疾患」	
29日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
30日(金)		
31日(土)		

研1~3 2階研修室1~3

※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ (<https://kumamoto.hosp.go.jp>) をご参照ください。

問い合わせ先 ☎860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター2階 地域医療研修センター TEL 096-353-6501 (代) 内線2630 096-353-3515 (直通)

地域医療連携室直通電話をご利用下さい

先生方には日頃より患者さまの御紹介を頂きありがとうございます。

当院は、地域医療連携室へのお電話が繋がりにくいのご指摘を受け、直通電話を設置致しております。

この直通電話は、**関係医療機関の皆様から頂くお電話のみ**をお受け致します。患者さまからの直接のご相談は、代表電

話を通じて承る予定です。

医療機関の皆様のための直通電話になります。ホームページ等では公表いたしておりませんので、ご了承下さい。今後ともよろしく申し上げます。

地域医療連携室副室長 とみたか えつし 富高 悦司



熊本医療センター
地域医療連携室直通電話

096 - 353 - 6693 直通 FAX 096 - 323 - 7601
月~金(祝日を除く) AM 8:30 ~ PM 17:00



独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード▶